

# 第33回秋田県公立小中学校事務研究大会

令和5年10月27日(金)  
於 秋田キャッスルホテル

## 速報 第3号

『実践と協働を通し、子どもの豊かな育ちを支援する学校事務』  
～新しい時代の学びを主体的にマネジメントする  
学校事務職員を目指して～

## 各分科会の様子・参加者からの感想

### 【第1分科会】 秋田県公立小中学校事務職員研究協議会 研究部

#### ICTと学校事務職員の関わり

～「つかさどる」学校事務職員として、どのようにICTと向き合うのか～

校務のデジタル化とIT化の変遷では昔のことを思いだし、デジタル化とIT化、DX化の違いには知っているようでちゃんと理解していないことを実感しました。急激に進んだICT環境の整備では、学校事務職員として、実際の教育活動でどのようにICT機器が活用されているのか知っておく必要があり、今後はICTをうまく活用し、負担軽減・省力化と効率化へ結び付け、DX化（価値創出にこだわるデジタル化）へ、つかさどる学校事務職員として積極的に関わって行かなければならないと思う発表でした。 県北地区中学校 主任主査



### 【第2分科会】 大館北秋田学校事務研究会

#### 「個人とチーム」

～これまでの共同実施活動とこれから～

大館北秋田地区のこれまでの共同実施の活動内容や特色の紹介があり、今回は若手職員と知事部局経験者へのアンケート調査を行い、その結果からこれからの課題について考えていく発表でした。その中で、本務校の仕事をとおそかにして他校への支援はないなど、自分の目の前にある仕事は自分が責任をもあってやり遂げることが原則であり、共同実施はその上で事務職員それぞれの経験値等の差を補うためにあるということであった。今後は事務職員の負担軽減も考え、個々のレベルアップにつながる活動が必要だと思った。 県南地区小学校 主任主査



### 【第3分科会】 秋田市立小中学校事務研究会

#### 「保護者の負担軽減を考える」

～どうしていますか？予算のやりくり～

「保護者の負担軽減を考える」というテーマで、秋田市の現状・アンケートの結果を紹介しながら学校事務職員として何ができるかを考え、提案する発表でした。実際の取組では、経済的に困っている家庭に対して就学援助制度を紹介するなど、様々な実際に取り組んだ事例や保護者負担増になってしまった事例の紹介があった。公費の予算が減額されるなか、私費会計に頼らざるを得ないかもしれないが、そんなときだからこそ、事務職員だけでなく学校全体で予算の使い方を考えていく必要があると感じた。 県北地区中学校 主事



## 第33回秋田県公立小中学校事務研究大会へ ご参加いただき、ありがとうございました。

